

# 會から

い園を祝します。

○新保育期を迎えて  
お子さん方と先生方  
の春らんまんの楽し

○波根氏の前號につづく論文を、今月號にお  
約束していましたが、編集締切を早めたため  
玉稿をいたゞけず、來月號にゆづります。そ  
の手ちがいを、波根氏と讀者とにおわびしま  
す。

○鈴木氏の稿は、この實際家の謙虚な態度の  
中に溢れる保育理想に、貴いものを盛り上げ  
られずにいません。

○瀧田氏の稿は、季節の自然をもつてするお  
もちやあそびの指導を豊かに與えられている  
もの、必ず皆さんの御参考になるものが多い  
と思います。材料は特にありふれた花や草を  
選ばれています。幼い人といつしよに、楽し  
み試みてみて下さい。春の野に庭に。

○本號には二つの力強い記事を載せることが  
できました。伊豆山童園創設の苦心談と、名  
古屋市第三幼稚園再建の報告です。今や、こ  
ういう創設と再建の氣運は、保育界に興隆し  
つゝあります。いづれも苦難なしには實現し  
得ないことで、その處々で各異つた事情を免  
れませんが、成功の力が熱心と敢行に出づる  
ことは、一つであります。こういふ力強い御

報告は大小にかゝわらず、詳細御寄稿下さ  
い。近く岡山大學の教育學部長阪元彦太郎氏  
からも、附屬幼稚園復興の喜ぶべき記事を寄  
せられることになっていきます。

○倉橋主幹の巻頭は、具體の敘述の形を以て  
した論文です。理論の形でなしに、保育界の  
實際について、望ましい理想のあれこれが説  
かれていきます。A市とあるのは假想の市で實  
在の土地ではありません。嘗て倉橋主幹が本  
誌に『森の幼稚園』という理想物語を書いた  
時、その幼稚園はどこにあるのかとの問合せ  
を多く受けたことがあります。A市について  
はまたそんなお手数をかけないようになり、念の  
爲此の欄からおことわり致しておきます。

## 『幼児の教育』編集

編集主任 倉橋惣三  
協力委員 牛島義友  
及川ふみ  
齊藤文雄  
多田鐵雄  
波多野完治  
山下俊郎  
（五十音順）  
西山浪太郎

編集委員

日本幼稚園協會

幼児の教育 第4号 第四號

定價 金參拾圓

昭和二十五年四月十五日印刷  
昭和二十五年四月二十日發行

東京都中野區千光前町一〇

編輯兼 倉橋惣三  
發行者

東京都文京區柳町二二番地

印刷者 杉山龜吉

東京都文京區柳町二二番地

印刷所 第一印刷株式會社

東京都文京區大塚町三十五

東京女子師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

東京都千代田區神田神保町二ノ四

發賣所 株式會社 フレーベル館

電話九段(33)三九七一番

振替 東京一九六四〇番

○本誌御購讀について注文申込その他  
は凡べて發賣所「フレーベル館」に願  
います